

森林の育成へ 枝打ち作業

県電気工事工業組合

県電気工事工業組合（沼尻芳治理事長）は、森林の育成を目的としてヒノキの枝打ち作業を行う「森林ボランティア活動」を横瀬町で行った。同組合青年部会の会員を中心に84人が参加した。



森林ボランティアを行った県電気工事工業組合の関係者（同組合員提供）

ボランティアは2006年から行っている。活動に先立ち行われた入山式では、富田能成町長が、10月下旬の台風で同地に大きな被害が出なかった例を挙げ、「ボランティアで森林の保全が充実したものと実感している」と話した。参加者は枝打ちのレクチャ―を受け活動を開始。5班に分かれ、はしごのこぎりを使用しながら枝打ち作業を行った。（勇有花子）